

事務事業名	新幹線対策事業			事業コード	02010620101
所管部署	高速交通対策室	電話	50-3051	記入者名	池本 成輝
事業対象	市民				
総合計画	基本構想	多様な都市活動を支えるまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	広域ネットワークの形成		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	物件補償調査、事業認定計画書作成等業務
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				
事業の目的・事業の概要等	北陸新幹線を広域ネットワークと位置付け、地域経済の活性化とこれまで交流の少なかった地域との産業・観光の発展を目指す。				
	北陸新幹線整備に関する中央要請を行い、関係する沿線集落に対して地元振興策を支援することにより、新幹線建設に係る円滑な用地取得及び早期の工事着手を図る。 また、今年度建設部建設課内に高速交通対策室が設置され、北陸新幹線整備事業、福井港丸岡インター連絡道路整備事業、福井森田丸岡線整備事業、および国道8号福井バイパス道路整備事業を担当することになり、各事業所と連携し事業の進捗を図る。				
事業の目的・事業の概要等	○需用費	23千円			
	・事務用消耗品費				
	○委託料	6,156千円			
	・調査委託料				
	○使用料及び賃借料	182千円			
	・車両借上料				
	○負担金、補助及び交付金	123千円			
	・北陸新幹線芦原温泉駅建設促進同盟会負担金	100千円			
	・県北陸新幹線建設促進同盟会負担金	23千円			

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐにできる改善提案	平成27年度より建設部に専門担当部署を配置し事業に取り組みます。
目標年度 平成27 年度	
取組状況	建設部建設課内に建設課高速交通対策室を設置し事業に取り組みました。
中長期的に取り組むべき改善提案	鉄道運輸機構、福井県と連携を密にし事業に取り組みます。
目標年度 平成34 年度	
取組状況	関係事業所と連携を密にし事業に取り組みました。

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	総務費	項	総務管理費	目	企画費					
コスト	事業費		平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		
			報酬	千円	千円	千円	千円				
			委託費	6,156千円	千円	千円	千円				
			需用費	23千円	千円	千円	千円				
			役務費	千円	千円	千円	千円				
			その他	305千円	123千円	千円	千円				
			事業費合計	6,484千円	123千円	千円	千円				
	人件費		正職員	4.00人	28,436千円	0.60人	4,217千円	人	千円	人	千円
			臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
			人件費合計	4.00人	28,436千円	0.60人	4,217千円	人	千円	人	千円
	総事業費		34,920千円	4,340千円	千円	千円					
	事業費	特定財源	国県支出金	538千円	千円	千円	千円				
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円				
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円				
地方債			千円	千円	千円	千円					
その他			千円	千円	千円	千円					
一般財源			34,382千円	4,340千円	千円	千円					
財源合計			34,920千円	4,340千円	千円	千円					

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成34	年度を目安
判断事由	国家プロジェクトであるため、敦賀開業予定の平成34年度を目途に事業を継続します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成34	年度を目安
判断事由	事業主体である鉄道運輸機構、用地取得事務を担う福井県と連携し事業を実施します。			
コスト投入の方向性	事業費の増加を検討します。	目標年度	平成35	年度を目安
判断事由	新幹線沿線集落の地域振興策に対応するため、県に対して補助金の増額を要望します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状の人員にて、より効果的な事業の進捗を図ります。			
すぐにできる改善提案				
目標年度	--	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案	鉄道運輸機構、福井県と連携を密にし事業に取り組みます。			
目標年度	平成34	年度		

【事業の成果】

指標名	単位	年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度
成果	認可・着工の有無	目標値	-	達成率	-	達成率
		実績値	-	---	-	---
成果	中心線測量の了解（集落数）	目標値	-	達成率	-	達成率
		実績値	-	---	-	---
活動	北陸新幹線関係会議出席回数	目標値	4	達成率	3	達成率
		実績値	4	100	3	100
活動	新幹線事業の説明会回数	目標値	20	達成率	14	達成率
		実績値	38	190	20	142.86
		目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
		実績値				
		目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
		実績値				